

研究者育成支援研究奨励事業（創薬関連分野）

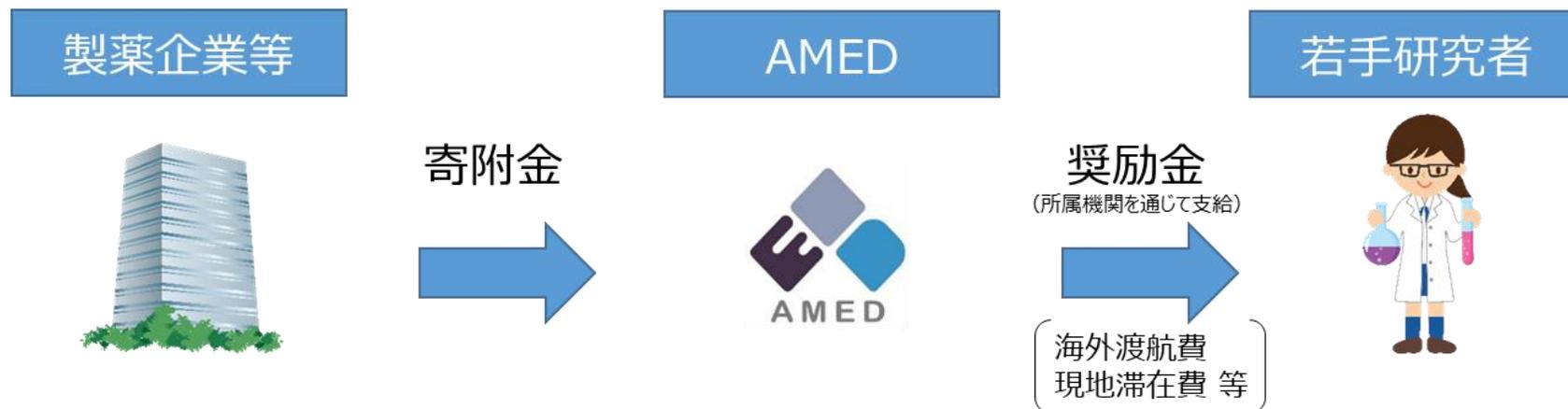
令和3年度 新規募集について

令和2年12月11日
令和3年2月25日（修正版）

日本医療研究開発機構(AMED)
創薬事業部 医薬品研究開発課

〔背景〕

- ✓ 我が国の医療分野の研究開発の底上げの観点から、若手研究者の育成は重要な課題とされており、政府からも**若手研究者の育成・海外研鑽を積む機会の拡充**が求められています。
- ✓ アカデミア・企業の双方からのニーズの高い**創薬関連分野**での取り組みを進めるため、製薬企業等からの寄附金を基に、**研究者育成支援研究奨励事業（スカラーシップ）**を創設しました。
- ✓ 我が国における創薬関連研究分野の優れた若手研究者が国内外の研究機関において研究に専念できるよう、当該研究者**個人を対象とした奨励金の支給**を事業者を通じて行います。



〔特徴〕

- ✓ 本事業で研究者に支給される奨励金は、若手研究者が国内外での先進的な研究に専念できる環境を整えるための経費を複数年にわたり支援するためのものであり、いわゆる研究費を助成する研究事業ではありません。
- ✓ AMEDの「基礎研究から実用化まで一貫した支援」というミッションを踏まえ、基礎のみならず、臨床等を担い将来的な実用化を志向する若手研究者までを支援対象としています。
- ✓ 本事業では、現状の研究環境が充足されていない若手研究者を積極的に支援し、日本の創薬関連研究者の裾野拡大にも活用します。
- ✓ 本事業を通じて、創薬関連分野における若手研究者が幅広く育成され、将来的に我が国における創薬研究の中核で活躍できる人材を多数輩出することを目指します。

本事業の応募資格者は、以下（１）～（５）の要件を満たす国内の研究機関等に所属し、かつ、主たる研究場所※¹としている若手研究者※²（学位取得済みの者）または所属する予定の者※³（学位取得見込みの者）とします。

（１）以下の（Ａ）から（Ｆ）までに掲げる研究機関等に所属していること。

（Ａ）～（Ｆ）省略

※¹ 所属する研究機関等と主たる研究場所が異なる場合は、別途ご相談ください。

※² 本事業で対象とする若手研究者の定義は、以下の条件を満たす者としてします。

令和3年4月1日時点において、年齢が、男性の場合は満40歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者）、女性の場合は満43歳未満の者（昭和53年4月2日以降に生まれた者）、又は博士号取得後10年未満の者。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができる。

※³ 派遣開始時点において、※²に示す本事業で対象とする若手研究者の条件を満たす必要があります。

（２）申請時において、日本国籍を持つ者、又は永住を許可されている外国人であること。

（３）任期の定めのない常勤研究職の職歴が過去通算して5年未満の者であること。

（４）派遣開始日までに学位取得見込みの者であること。

（５）その他に以下の点にも留意すること。

- ・本事業に採択されたことのある者は申請できません。
- ・（Ａ）から（Ｆ）までに掲げる研究機関等に所属する予定の者からの申請については、申請にあたり所属予定機関からの機関承認が得られる場合に限り可能となります。
- ・派遣期間中に特定の研究課題を遂行するための競争的資金等により雇用されている者は、支給の対象とはなりません。
- ・採択された場合は、速やかに①②の書類を提出してください。
 - ①学位取得証明書等（学位授与機関が証明した文書であること。なお、学位記のコピー等は不可）※取得見込みの者は取得でき次第提出すること。
 - ②日本に永住を許可されていることを証明する書類（外国人のみ）
- ・研究活動における不正行為、不正受給、研究費の不正使用を行ったとして研究機関等による認定を受けた者は申請できません。または、現在、研究活動における不正行為、不正受給、研究費の不正使用に係る調査の対象となっている者は申請できません。
- ・その他、公序良俗に反する行為を行っていた者は申請できません。

	募集プログラム	事業費の規模 (一般管理費含まず)	実施予定期間	新規採択課題 予定数
1	研究者育成支援研究奨励事業 (創薬関連分野) 【一般枠】 【エンカレッジ枠】 ²⁾	研究奨励金として 1 課題当たり年間 7,000千円 程度以下 (直接経費の総額) ¹⁾	最長3年 令和3年度～令和5年度 (派遣期間として) 最長3年	0～10課題程度

- 1) この他に一般管理費（直接経費の10%以内）を計上することができます。
- 2) 【エンカレッジ枠】への応募は、下記要件を満たす場合のみ可とします。【エンカレッジ枠】へ応募された課題については、課題評価委員会の評価結果に基づき、5課題までは優先的に採択することとします。

(要件)

- ・申請者又は申請者が所属している組織※が獲得している20192020年度におけるAMEDAMED研究開発費（直接経費）の合計額が500万円以下であること。

※組織とは、申請者が所属する機関ではなく、申請者が日常的に指導を受ける研究者（教授、准教授、グループリーダー等）をリーダーとして構成される研究室単位（大学の場合は「大学設置基準」（昭和31年文部省令第28号）における研究室）とする。

〔注意事項〕

- 実施予定期間は、採択者の派遣期間（開始～終了）によっては終了時点が令和6年度に跨ぐ場合があります。実施期間全体の直接経費の総額として21,000千円（単年度の直接経費上限は7,000千円）を下回るように計上してください。なお、実施予定期間を4年度間（派遣期間を3年間）とした場合、1年目と4年目の事業費（直接経費）は合計して7,000千円を下回るように計上してください。⇒スライド10参照
- 複数の研究奨励事業への応募は認められますが、研究奨励金の不合理な重複に該当しないことを確認するため、同時に応募した研究奨励事業の情報を申請書の該当欄へ必ず記載してください。また、応募中の課題が採択された場合は、速やかにAMEDの本事業担当課に報告してください。
- 研究奨励金は、派遣先での現地滞在費、活動費、航空賃、渡航に係る経費として、所属機関の規定等に則り、支給額上限の範囲内で採択者に支給されます。（研究開発費は支給されません）
- 派遣先機関は創薬関連分野において相当の研究実績を有するなど優れた大学等研究機関とします。なお、我が国の大学等学術研究機関が海外に設置する研究所等及び営利を目的とした民間研究所等は派遣先機関としては認められません。
- 派遣期間中の一時帰国に係る経費（航空賃、交通費等）や一時帰国期間中の滞在費、活動費は支給できません。また、他制度からの研究奨励金や日当を受給することはできません。
- 学会や研究機関等から旅費が支給される場合は、当該学会や研究機関等からは旅費のうち交通費及び宿泊費に相当する費用等実費分を受給することは可能です。ただし、当該学会や研究機関等から支給される旅費のうち日当については受給することはできません。
- 航空賃、交通費等として支給できるのは、派遣開始時の派遣先への渡航費及び派遣終了日の派遣先からの帰国時の渡航費のみとなります。
- 研究奨励金以外の手当等は支給できません。

〔目標と求められる成果〕

創薬関連分野における若手研究者が、本事業を活用し、国内外の優れた大学研究機関等において研究活動を実施することにより、新たな研究課題に挑戦することや以前から行っている研究を大きく発展させることに関する経験を通じて、我が国における創薬研究の裾野を広げ、将来の中樞を担う人材として活躍することが期待されています。

〔応募条件〕

採択に当たっては、次の（a）～（b）のすべてを満たすことを必須とします。

- （a）「第2章2.1 応募資格者」に記載の要件をすべて満たしていること。
- （b）派遣先機関での研究に係る経費は別途調達できる目処が付いており、研究の実施自体に支障がないこと。

〔留意事項〕

- 本事業への申請は1人1件とします。なお、2件以上申請した場合、全ての申請が無効となります。
- 申請者又は申請者が所属している組織によるAMED研究費の獲得状況については、審査の際の重要な情報となり得るので詳細かつ正確に記載してください。
- 研究上の不正行為を未然に防止するため、研究倫理教育教材の履修等が義務づけられています。採択者は、原則、派遣先機関への出発前に履修してください。
- 採択決定後の派遣開始期限・派遣期間の短縮や延長・派遣期間中の一時帰国等については、新型コロナウイルスによる感染状況等を踏まえ、できる限り柔軟に対応いたします。

提案書類受付期間	令和2年12月11日(金)～令和3年3月11日(木)【正午】(必着厳守)
書面審査	令和3年3月中旬～令和3年4月中旬(予定)
面接審査(ヒアリング審査)	令和3年4月中旬～下旬(予定) ※必要に応じて実施いたします。 ※開催日時が決定次第AMEDウェブサイトでご告知します。
採択可否の通知	令和3年5月上旬～5月中旬(予定)
派遣開始日(採択者への支給開始日)	令和3年5月下旬以降(予定) (採択通知日から1年間を派遣開始予定期間とします。)

- ✓ 面接審査(ヒアリング審査)はWeb等による実施の場合があります。
- ✓ 面接審査(ヒアリング審査)を実施する対象課題の申請者に対しては、原則として面接審査(ヒアリング審査)の1週間前までに電子メールにてご連絡します(面接審査(ヒアリング審査)の対象外の場合や、面接審査(ヒアリング審査)自体が実施されない場合には連絡しませんので、採択可否の通知までお待ちください)。
- ✓ 「派遣開始日(採択者への支給開始日)」は、提案時に助成事業課題開始時期を見据えた最適な事業計画を立てていただくこと、また、採択決定後、助成金交付決定等までの間で、あらかじめ可能な準備を実施していただき、交付決定後、速やかに派遣を開始いただくこと、などを考慮して明示するものであり、募集要領の他の記載の取扱いと同しく、助成金交付決定等をお約束するものではありません。
- ✓ 採択通知日から1年間が派遣開始予定期間として設定されます。派遣開始予定期間内に派遣開始できない場合は、採択や交付決定を取り消す場合があります。

〔審査方法〕

本事業における研究開発課題の採択に当たっては、AMEDの「研究開発課題評価に関する規則」に準じて、実施の必要性、目標や計画の妥当性を把握し、予算等の配分の意思決定を行うため、外部の有識者等の中からAMED理事長が指名する**評価委員を評価者とする事前評価（審査）を実施**します。課題評価委員会は、定められた評価項目について評価を行い、AMEDはこれをもとに採択課題を決定します。

〔審査項目と観点〕

本事業における課題の採択に当たっては、提案書類について**以下の観点に基づいて審査**します。

- (A) 事業趣旨等との整合性
- (B) 研究者としての実績・期待
- (C) 計画の妥当性
- (D) 科学的・技術的な意義及び優位性
- (E) 研究実施環境

※ 詳細は募集要領を参照ください。

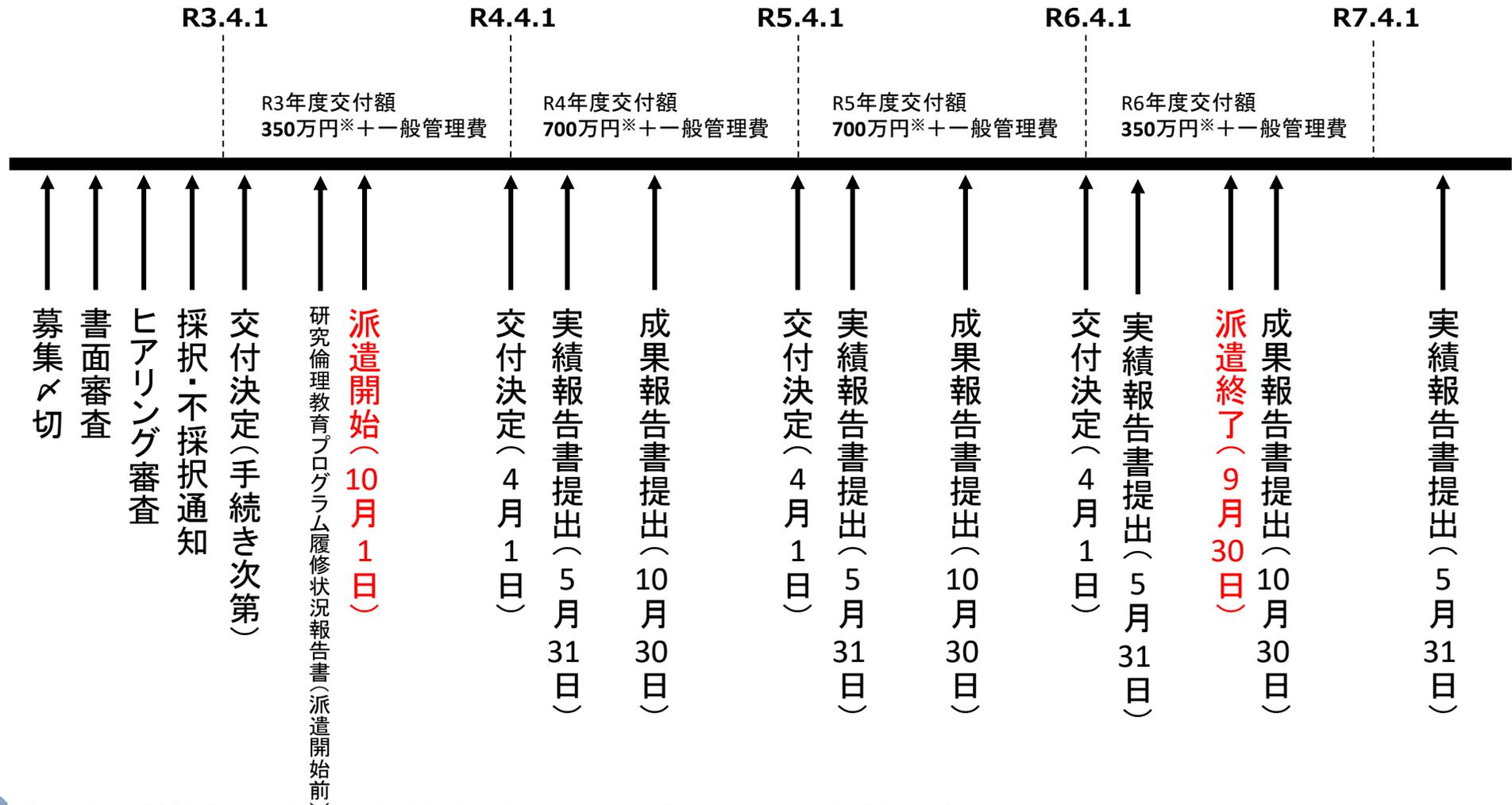
評価対象者が派遣先にて実施する研究内容を踏まえ、評価対象者が当該研究を遂行する能力を有しているかの観点から審査します。

- ▶ 不正行為等を未然に防止する取組の一環として、AMEDは、本事業に参画する研究者に対して、**派遣開始日までに研究倫理教育に関するプログラムの履修・修了を義務付けることとします**。そのため、実施機関には、研究者に対する研究倫理教育を実施し、その履修状況をAMEDに報告していただきます。また、本事業に参画する研究者は、不正使用・不正受給・不正行為を未然に防止するために研究倫理教育に関するプログラムを派遣開始日までに修了する必要があります。なお、**研究倫理教育プログラムの修了がなされない場合には、修了が確認されるまでの期間、助成金の執行を停止等することがあります**ので、留意してください。
- ▶ 採択された研究者は、**募集要領11.5 (A) ～ (F) に掲げる事項を遵守**してください。これらへの不遵守の他、**(G) ～ (M) に掲げる事項のいずれかに該当するとAMEDが判断した場合には、助成金の交付を停止し、原則、採択取り消しや採択期間の途中での資格の取り消しの措置**を行い、**交付済の経費の返還要求**を行います。

本事業における全体スケジュールイメージ

派遣期間をR3.10.1～R6.9.30とした場合

※ 派遣期間が3年の場合、直接経費総額は2,100万円が上限



- 提案書類は、府省共通研究開発管理システム（ e-Rad ）で提出ください。
 - ※ポータルサイト：<http://www.e-rad.go.jp/>
 - ※研究者と所属研究機関の登録が必要です。
 - ※所属機関（ e-Rad 事務代表者）承認の上ご応募下さい。
 - ※詳細は募集要領「第 5 章 提案書等の作成・提出方法」を参照ください。
- 応募には以下の書類を提出してください。
 - （様式 1）申請書
 - （様式 2）推薦書
 - （様式 3）受入意思確認書
 - ※ 様式 1 ～ 3 をPDF 化して、 **1つのファイルにまとめたものを登録**（アップロード）してください。
 - ※ アップロードできる 1 ファイル当たりの**最大容量は15 MB**となります。

提案書類作成にあたっての注意事項

【様式1 申請書】

(様式1) 申請書

日本医療研究開発機構

「研究者育成支援研究奨励事業（創薬関連分野）」

申請区分を必ず選択してください 令和3年度募集

申請書 派遣予定期間を記載してください

申請区分： 一般枠 ・ エンカレッジ枠 ←いずれかに○をつけるを削除してください。

提案課題名 (英語表記)			
事業名	研究者育成支援研究奨励事業（創薬関連分野）		
実施期間	令和3年 10月 1日 ~ 令和6年 9月 30日（3年間）		
申請者 氏名	(フリガナ)	イリョウ ハルコ	
	(漢字等)	医療 春子 IRYOU Haruko	
所属研究機関	〇〇〇〇大学		
住所	〒XXX-XXXX		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	□□ □□	経理担当部局	〇〇〇〇大学管理部〇〇課
		名・連絡先等	電話番号： FAX 番号：
		E-mail アドレス：	

合計金額が21,000千円を越えないようにしてください

各年度別経費内訳

(単位：千円)

大項目	中項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計	
直接経費	1.物品費	設備備品費					
		消耗品費					
	2.旅費	旅費	3,500	7,000	7,000	3,500	21,000
		人件費・謝金					
	4.その他	外注費					
		その他					
小計		3,500	7,000	7,000	3,500	21,000	
一般管理費 (上記経費の10%目安)		350	700	700	350	2,100	
合計		3,850	7,700	7,700	3,850	23,100	

※ 所属機関の経理事務担当等に確認のうえ、所属機関の規定に則り、派遣にかかる経費（滞在費、活動費、航空賃等）を積算してください。

※ 派遣予定期間に応じて、年度ごとに経費を積算してください。

例1：派遣予定期間 R3. 9. 1～R6. 8. 31 の場合は、R3年度～R6年度の欄に、それぞれの年度ごとに必要となる経費を記載してください。実施期間全体の直接経費の総額として21,000千円（単年度の直接経費上限は7,000千円）を下回るように計上してください。なお、実施予定期間を4年度間（派遣期間を3年間）とした場合、1年目と4年目の事業費（直接経費）は合計して7,000千円を下回るように計上してください。

例2：派遣予定期間 R3. 10. 1～R6. 3. 31 の場合は、R3年度～R5年度の欄に、それぞれの年度ごとに必要となる経費を記載してください。

※ 物品費、人件費・謝金及びその他の経費は計上することはできません。

【注意】記載例と説明文（全ページにある青字&斜体の全ての箇所）を削除して提出してください。

提案書類作成にあたっての注意事項

【様式1 申請書】

【エンカレッジ枠】への申請者のみ、正確に記載してください

令和3年4月1日時点で所属する研究室における令和2年度のAMED研究費の獲得状況

※【エンカレッジ枠】に応募する申請者のみが記載すること。

※研究室に所属する研究者全員の獲得状況を正確に記載すること。記載事項がない場合は必ず「獲得研究費なし」と記載すること。

※ここでの研究室とは、申請者が所属する機関単位ではなく、申請者が日常的に指導を受ける研究者（教授、准教授、グループリーダー等）をリーダーとして構成される研究室（大学の場合は「大学設置基準」（昭和31年文部省令第28号）における研究室）とする。

資金制度・研究費名 (研究期間)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	申請者が所属予定の研究室に所属する研究者氏名 ¹⁾ (役職)	左記1)の研究者の役割(代表・分担の別)	左記1)研究者が獲得した令和2年度の研究経費(直接経費)[期間全体の額](千円)
●●研究事業 (R.1.4.1~ R.5.3.31)	○○に関する研究 (○○ ○○)	○○ ○○ (教授)	代表	2,000 [10,000]
▲▲研究事業 (R.2.4.1~ R.4.3.31)	◆◆に関する研究 (△△ △△)	■ ■ ■ (准教授)	分担	4,000 [15,000]

全申請者が、正確に記載してください

申請者による研究奨励金等の受給・新規申請状況(令和2年度~令和3年度)

※研究費以外の滞在費・活動費等の受給・新規申請状況を正確に記載すること。

資金制度・研究費名 (受給期間)	提案課題名	獲得済・申請中	令和3年度の支給予定額 (千円)[期間全体の額]
○○会 海外特別研究員 (R.1.4.1~ R.3.3.31)	△△に関する研究	獲得済	0 [13,000]
△△研究奨励金制度 (R.3.4.1~ R.5.3.31)	■ ■ ■に関する研究	申請中	5,500 [11,000]

派遣を希望する期間	年 月 日(派遣開始予定日) ~ 年 月 日 (派遣終了日) ※最大3年間
派遣国	
派遣先の受入機関名	
海外等における受入機関での身分	

↑
申請書1ページ目の実施期間と一致させてください

出身大学院の研究指導者	(フリガナ)	● ● ●
	氏名	○○ ○○
	職名	教授
	所属機関名	国内の機関・海外の機関 ←いずれかに○をつけるか削除し
	部局名	○○学部○○科○○分野

様式2の作成者名と一致させてください

推薦書(様式2)作成者	(フリガナ)	
	氏名	
	職名	
	所属機関名	国内の機関・海外の機関 ←いずれかに○をつけるか削除してください。
	部局名	

海外等派遣先における受入研究者 〔(様式3)受入意思確認書作成者〕	(フリガナ)	
	氏名	
	職名	
	受入機関名	大学・国公立試験研究機関・非営利の民間研究機関 ←いずれかに○をつけるか削除してください。
	受入部局名	

研究活動における主な使用言語	主な使用言語の
外国での研究遂行能力について(語学能力の確認)※	語学検定試験結果: 国際学会での発表経験(有無・回数): 論文執筆(有無・数): 留学経験(有無・内容): 日常的な使用頻度: その他:

↑
様式3の作成者名と一致させてください

提案書類作成にあたっての注意事項

【様式3 受入意思確認書】

(様式3) 受入意思確認書

Letter of Intent to Accept Prospective Fellow by Host Researcher

I am willing to host the following person if she/he is awarded an AMED Scholarship.

Applicant name (申請者名) _____

Research project (提案課題名) _____

Host Researcher (受入研究者) **様式1の提案課題名と一致させてください**

Name _____

Position _____

Department _____

Institute _____

Exception clause (特記事項)

Signature (受入研究者署名) _____

Date (署名日) _____

(date) (month) (year)

**手書きの署名と署名日
取得してください**

※Signature (受入研究者署名) 欄については、本人による手書き署名のうえ PDF に変換したものを用意してください。

※すべて日本語での記載も可です。

e-Rad入力にあたっての注意事項

【応募(新規登録)→基本情報の入力画面】

様式1 申請書に記載した提案課題名を入力ください

派遣先で実施する研究の情報を入力ください

応募 (新規登録)

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公募年度/公募名 | 2021年度 / 令和3年度 研究者育成支援研究奨励事業 (創薬関連分野)

課題ID/研究開発課題名 必須

一時保存中の課題を配分機関に公開する 公開する 公開しない 必須

基本情報 | 研究経費・研究組織 | 応募・受入状況

派遣開始年度 派遣終了年度

研究期間 (西暦) (開始) (終了) 年度まで 必須

研究分野(主) 研究の内容 必須

キーワード 必須

行の追加 | 選択行の削除

研究分野 (副) を設定する ▼ 任意項目を表示

研究目的 必須

研究概要 必須

基本情報-申請書類

名称	形式	サイズ	ファイル名
応募情報ファイル	[pdf]	15MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除

様式1~3を1つのファイルにまとめてアップロードしてください

e-Rad入力にあたっての注意事項

【応募(新規登録)→研究経費・研究組織の入力画面】

基本情報

研究経費・研究組織

応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

1.費目ごとの上限と下限

	上限	下限
直接経費	21,000,000 円	(設定なし)
間接経費	(直接経費の10%)	-

2.年度別経費内訳

		2021年度	2022年度	2023年度	合計
直接経費	旅費 必須	3,500,000 円	7,000,000 円	7,000	21,000,000 円
	小計	3,500,000 円	7,000,000 円	7,000	21,000,000 円
間接経費	一般管理費 必須	350,000 円	700,000 円	700	2,100,000 円
	合計	3,850,000 円	7,700,000 円	7,700	23,100,000 円

実施期間全体の直接経費の総額として21,000千円(単年度の直接経費上限は7,000千円)を下回るように計上してください。

研究組織

1.申請額(初年度)の入力状況

「1.申請額(初年度)の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。
ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度金額と一致するように入力してください。

	初年度の申請額	研究者ごとの金額合計	差額
直接経費	3,500,000 円	0 円	3,500,000 円
間接経費	350,000 円	0 円	350,000 円

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

行の追加
✖ 選択行の削除

研究者を検索	研究者番号 氏名	研究機関 部局 職/職階 必須	専門分野 学位 役割分担 必須	直接経費 間接経費 必須 ?	エフォート (%) 必須	閲覧・ 編集権限	削除	移動
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> <small>代表者</small> XXXXXXXX ○○ ○○○ (△△△△ △ △△△) </div>	○○機関 <input type="text"/> ○○長/○○クラス	<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> ,000 円 <input type="text"/> ,000 円	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 2px solid red;" type="text"/>			

行の追加
✖ 選択行の削除

本事業でのエフォートは、「0%」で入力してください
→e-Radのシステム上0%が入力できないので、【1%】で入力してください。

募集に関するお問い合わせは、**必ずメール**でお願いいたします。

創薬事業部医薬品研究開発課 事業担当

Email: scholarship_s@amed.go.jp

お問い合わせの際には、お名前、所属、連絡先等を明記してください。